

手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議 (平成30年度第1回)

日時：平成30年7月5日（木）午前9時45分～12時00分

（会場視察：11：30～12：00）

場所：米子コンベンションセンター 会議棟5階 第6会議室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 報告事項

- (1) 手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議委員の委嘱について（資料1）
- (2) 参加チームの申込み状況について（資料2）

4 議 題

- (1) 議案第1号
第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園実施計画について（資料3）

5 その他

- (1) 今後の日程について（資料4）
- (2) 協賛の募集について（資料5）
- (3) 応援自動販売機の設置について（資料6）
- (4) 平成29年度事業報告・収支決算及び平成30年度事業計画・収支予算について（資料7）
- (5) その他

6 閉 会

手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議 出席者名簿
(平成30年度第1回)

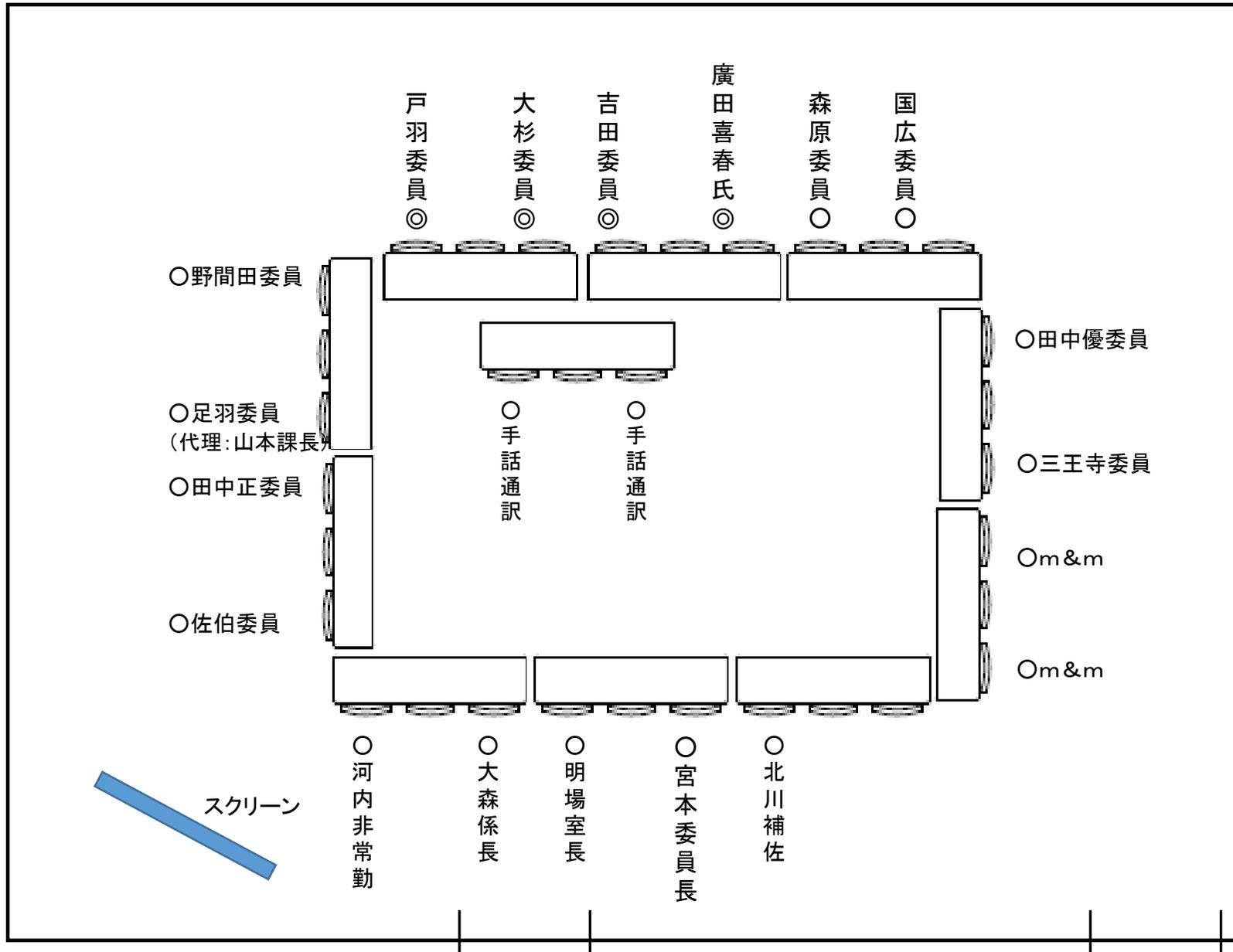
役 職	所属・役職名	氏名(敬称略)	出 欠 (代理:敬称略)
委員長	鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局長	宮本 則明	
委 員	国立大学法人筑波技術大学 教授	大杉 豊	
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長	吉田 航	
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局次長兼福祉・労働委員会委員長	戸羽 伸一	
	鳥取県手話通訳士協会	森原 早百合	
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部	国広 生久代	
	鳥取県手話サークル連絡協議会	田中 優子	
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 常務理事	野間田 憲昭	
	鳥取県教育委員会 教育次長	足羽 英樹	特別支援教育課長 山本 伸一
	鳥取県高等学校長協会 会長	田中 正士	
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長	佐伯 友茂	
	鳥取県立鳥取聾学校 校長	三王寺 孝子	
事務局	事務局長(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 障がい福祉課 社会参加推進室長)	明場 達朗	/
	事務局次長(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 障がい福祉課 社会参加推進室 課長補佐)	北川 泰子	
	事務局員(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 障がい福祉課 社会参加推進室 係長)	大森 宏治	
	事務局員(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 障がい福祉課 社会参加推進室 非常勤)	河内 大樹	

※オブザーバー出席:全日本ろうあ連盟 前青年部長 廣田喜春、m&m.C0

※手話通訳者:鳥取県聴覚障害者協会 中嶋千鶴、中林絃子

手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議(平成30年度第1回)

【米子コンベンションセンター第6会議室】



資料 1

手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議委員の委嘱について

人事異動等に伴い、以下の3名の方を平成30年4月1日付け又は同年6月10日付けで新しく企画推進会議の委員に委嘱しました。(敬称略)

- ・ 全日本ろうあ連盟 青年部長 よしだ わたる 吉田 航 (平成30年6月10日付け)
- ・ 鳥取県教育委員会 教育次長 あしば ひでき 足羽 英樹 (平成30年4月1日付け)
- ・ 鳥取県高等学校長協会 会長 たなか まさし 田中 正士 (平成30年4月1日付け)

【企画推進会議委員名簿】

役 職	所属・役職名	氏名(敬称略)	委嘱日
委員長	鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局長	宮本 則明	(平成29年6月20日)
委 員	国立大学法人筑波技術大学 教授	大杉 豊	平成29年4月1日
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長	吉田 航	平成30年6月10日
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局次長兼福祉・労働委員会委員長	戸羽 伸一	平成29年4月1日
	鳥取県手話通訳士協会	森原 早百合	平成29年4月1日
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部	国広 生久代	平成29年4月1日
	鳥取県手話サークル連絡協議会	田中 優子	平成29年4月1日
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 常務理事	野間田 憲昭	平成29年6月22日
	鳥取県教育委員会 教育次長	足羽 英樹	平成30年4月1日
	鳥取県高等学校長協会 会長	田中 正士	平成30年4月1日
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長	佐伯 友茂	平成29年4月1日
鳥取県立鳥取聾学校 校長	三王寺 孝子	平成29年4月1日	

※任期はいずれの方も平成31年3月31日まで

今年度も全国高校生手話パフォーマンス甲子園の実施に向け、御支援の程、何卒よろしくお願ひします。

資料 2

第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 参加チーム申込状況

■参加 39チーム(41校)【7月4日(水)17時現在】

ブロック名	番号	高校名	よみ	都道府県	参加実績※
北海道・東北ブロック (0チーム)					
関東ブロック (7チーム)	合同	ふじみ野高等学校	ふじみの	埼玉県	○
		立川ろう学校	たちかわ	東京都	
		富士森高等学校	ふじもり	東京都	○
		横浜南陵高等学校	よこはまなんりょう	神奈川県	
		日本女子大学附属高等学校	にほんじょしだいがくふぞく	神奈川県	○
		青峰学園	せいほうがくえん	東京都	○
		中央ろう学校	ちゅうおうろう	東京都	
		大泉桜高等学校	おおいずみさくら	東京都	
中部ブロック (8チーム)		掛川工業高等学校	かけがわこうぎょう	静岡県	
		田鶴浜高等学校	たつるはま	石川県	
		岡崎東高等学校	おかざきひがし	愛知県	
		杏和高等学校	きょうわ	愛知県	
		身延山高等学校	みのぶさん	山梨県	
		修文女子高等学校	しゅうぶんじょし	愛知県	○
		啓新高等学校	けいしん	福井県	
		岐阜龔学校	ぎふろう	岐阜県	○
近畿ブロック (5チーム)		聖心学園中等教育学校	せいしんがくえん	奈良県	
		鳴尾高等学校	なるお	兵庫県	
		いぶき明生支援学校	いぶきめいせい	兵庫県	
		社高等学校	やしろ	兵庫県	△
		奈良県立ろう学校	ならけんりつろう	奈良県	
中国・四国ブロック (13チーム)		鳥取城北高等学校	とっとりじょうほく	鳥取県	
		聖カタリナ学園高等学校	せいかたりながくえん	愛媛県	
		境港総合技術高等学校	さかいみなとそうごうぎじゅつ	鳥取県	
		鳴門高等学校	なると	徳島県	
		尽誠学園高等学校	じんせいがくえん	香川県	○
		米子東高等学校	よなごひがし	鳥取県	○
		清水ヶ丘高等学校	しみずがおか	広島県	○
	合同	ノートルダム清心高等学校	のーとるだむせいしん	広島県	○
		広島南特別支援学校	ひろしまみなみとくべつしえん		
		済美高等学校	さいび	愛媛県	○
		琴の浦高等特別支援学校	ことのうらこうとうとくべつしえん	鳥取県	○
		高松南高等学校	たかまつみなみ	香川県	
		新田青雲中等教育学校	にったせいいうんちゅうとうきょういっく	愛媛県	
		美作高等学校	みまさか	岡山県	○
九州・沖縄ブロック (6チーム)		大和青藍高等学校	やまとせいらん	福岡県	
		平戸高等学校	ひらど	長崎県	
		黒石原支援学校	くろいしばる	熊本県	○
		真和志高等学校	まわし	沖縄県	
		大分東明高等学校	おおいたとうめい	大分県	
		熊本龔学校	くまもとろう	熊本県	

※ 無印: 前回大会参加校, ○印: 初参加校, △印: 過去参加校(前回大会は参加なし)

[参考] 申込み数 ※()は、昨年(第4回大会)の実績

・チーム数 39 (54) チーム
 ・高校数 41 (55) 校
 ・都道府県数 22 (27) 都道府県

○初参加 14
 △過去参加校 1

第5回
全国高校生
手話パフォーマンス甲子園



実施計画(案)

平成30年7月5日(木)

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

名称

第5回 全国高校生 手話パフォーマンス甲子園

目的

ろう者とろう者以外の者が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話言語の魅力や手話言語が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらうとともに、手話言語とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を“手話の聖地”鳥取県で開催する。

主催・共催等

【主催】手話パフォーマンス甲子園実行委員会 【共催】鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会
【特別協力】一般財団法人全日本ろうあ連盟 【特別協賛】日本財団

期日／会場

- 本大会 日時／平成30年10月7日(日) 9:00～16:00
場所／米子コンベンションセンター 多目的ホールほか
(米子市末広町 294 番地)
- 交流会 日時／平成30年10月6日(土) 18:00～20:00
場所／ANAクラウンプラザホテル米子 飛鳥の間(米子市久米町 53 番 2 号)

演技内容

手話言語を使った歌唱、ダンス、演劇、ポエム、コント、落語、漫才などのパフォーマンスで、表情も含め手話言語を正確に使いながら、伝えようとする意志をしっかりと持ち、工夫された演出や構成と豊かな表現力により演じられるもの。



出場チーム

予選審査を通過した全国の高校生による全20チーム

- 申込み期間：5月21日(月)～7月6日(金)
- 予選審査会：8月2日(木)～3日(金) 鳥取県庁で開催
※動画視聴による審査を実施。8月3日に予選審査結果の発表。(ライブ中継あり)

表彰

- ① 優勝 (賞状、優勝旗、メダル、副賞を授与する。)
- ② 準優勝 (賞状、準優勝楯、メダル、副賞を授与する。)
- ③ 3 位 (賞状、メダル、副賞を授与する。)
- ④ 審査員特別賞 (賞状、副賞を授与する。)
- ⑤ 全日本ろうあ連盟賞
- ⑥ 日本財団賞
- ⑦ 鳥取県聴覚障害者協会賞
- 上記受賞チーム以外の本大会出場チーム全てに“梨花賞”を授与する。



演技司会



早瀬 憲太郎 (はやせ けんたろう) 【継続】
 ・第1～4回手話パフォーマンス甲子園演技司会
 ろう者として、学習塾「早瀬道場」を設立し、塾長と
 してろう児の国語指導等を行っている。映画「ゆず
 り葉」の脚本・監督。NHK「みんなの手話」に講師
 として出演。デフリンピック2017の自転車競技の日
 本代表として出場。



中野 郁海 (なかの いくみ) 【新規】
 鳥取県出身
 生年月日2000年8月20日
 AKB48 チーム8及びチームK所属
 H26年10月 とっとりふるさと大使に就任
 H30年6月鳥取県「とっとり未来キッズプロジェクト」
 の応援キャラクターに就任

総合司会



調整中

審査員長



庄崎 隆志 (しょうざき たかし) 【継続】
 演出家・俳優 ろう者
 ・第1～4回手話パフォーマンス甲子園審査委員長
 19歳でプロ劇団デフ・パペットシアター・ひとみの代表
 演出となる。
 2009年映画『ゆずり葉』(全日本ろうあ連盟製作)主演。
 2010年、横浜文化賞・文化芸術奨励賞の受賞など、多
 くの受賞歴があり、ろう者の俳優の第一人者として活
 躍中。

審査員



小中 栄一 (こなか えいいち) 【継続】
 全日本ろうあ連盟 副理事長 ろう者
 昭和29年(1954年)生。7歳ごろに聴覚障害となる。
 NPO法人ろう教育を考える全国協議会 理事
 社会福祉法人富山県聴覚障害者協会 理事
 富山県聴覚障害者センター 施設長
 富山市聾唖福祉協会 会長



貴田 みどり (きた みどり) 【再】
 女優 ろう者
 ・第1回、2回手話パフォーマンス甲子園審査員
 ・NHK-Eテレ「みんなの手話」講師アシスタント
 ・鳥取県 手話言語条例「今日からできる手話講
 座」DVDナビゲーター
 ・特技はダンス、陸上、手話8カ国



門 秀彦 (かど ひでこ) 【再】
 絵かき ろうの両親を持つ聞こえる人。
 ・第3回手話パフォーマンス甲子園審査員
 ・両親との手話コミュニケーションの補足として絵を描き始
 める。
 個展や国内外の学校、野外音楽フェス等でのライ
 プペインティング、ワークショップ、講演の他、アニ
 メーション作品の制作、ミュージシャンのアートを
 ワークを手掛けるなど、創作は多岐に渡る。



金沢 映子 (かなざわ えいこ) 【新規】
 女優 文学座所属 聞こえる人
 ・舞台を中心に、映画、テレビ、ラジオドラマ、CMの
 他、声優としても活動。
 ・手話との出会いは2002年。きいろ組の手話入門講
 座に参加し、手話の勉強を開始。
 2016年より、庄崎隆志主宰「風の器」プロデュース
 の手話芝居、パフォーマンスライブ、小学校への
 ワークショップライブ等に参加。



寺川 志奈子 (てらかわ しなこ) 【新規】
 鳥取大学地域学部 教授 聞こえる人
 研究分野教育心理学・発達心理学

ゲストパフォーマー



【本大会】
手話パフォーマンス きいろぐみ
 ろう者と聞こえる人から構成される手話パ
 フォーマンスグループ。手話の映像的な魅
 力を、ステージからお伝えるためのアート
 集団として、手話パフォーマンスに取り組ん
 でいる。



【交流会】
井崎 哲也 (いさき てつや)
 日本ろう者劇団(社会福祉法人トット基金の
 付帯劇団)俳優。ろう者。手話劇・サインマイ
 ム等をとおして、ろう者の文化を普及してい
 くための活動を続けている。

応援サポーター (①ウェブ映像 ②CM ③番組 ④地元情報誌でのPR出演を担当)

調整中(県内高校生3名程度)

本大会

●開場 8時00分 / ●開演 9時00分

○日 時：平成30年10月7日(日) 9:00～16:00

○場 所：米子コンベンションセンター多目的ホール（鳥取県米子市末広町294番地）

【日程】

時間	項目	内容
9:00～9:30	開会式等	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・主催者あいさつ(実行委員会会長(鳥取県知事)) ・来賓あいさつ 全日本ろうあ連盟 日本財団 等 ・出場チーム紹介 ・優勝旗返還(奈良県立ろう学校) ・選手宣誓(抽選で選ばれた本大会出場チーム) ・審査員の紹介 ・審査方法の説明 ・演技司会者の紹介
9:30～11:40	チーム演技①	前半10チームの演技
11:40～12:45	(昼休憩)	
12:45～14:45	チーム演技②	後半10チームの演技
14:45～15:00	(休憩)	
15:00～15:25	ゲストパフォーマンス	・手話パフォーマンス きいろぐみ
15:25～16:00	表彰式、閉会	<ul style="list-style-type: none"> ・表彰 優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞、 全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、 鳥取県聴覚障害者協会賞 ・審査員長講評 ・閉会あいさつ

※詳細時間は今後調整

<米子コンベンションセンター 多目的ホール>



【大会の観覧】

項目	内容
観覧方法	観覧自由(事前申込み不要)
入場料	無料
一般入場席	多目的ホール 約1,100席(ハートフル席約80席)
サテライト会場等	多くの入場希望者が来場し、多目的ホールに入場できない状況も想定して、サテライト会場や映像モニターを設置してステージの様子を放映する。 ○サテライト会場:情報プラザ ○映像モニター:エントランスロビー等
ライブ配信	当日来場できない方を含め、より多くの方に大会を観覧いただけるよう、インターネット(手話パフォーマンス甲子園☆動画チャンネル)上でライブ中継を行う。なお、CD音源を使用する場合、著作権について所有者の許諾が得られない場合は、音声を配信しない。

【催し】

項目	内容
あいサポート・マルシェ (正面入口前・1階ホワイエ)	障がい福祉サービス事業所等による販売コーナー (飲食物(軽食)、事業所作品、特産品等の販売)
手話カフェ(1階ホワイエ)	手話を使った交流の場(米子市の手話カフェSignによる)
鳥取聾学校写真展(1階情報プラザ)	鳥取聾学校写真部の作品展示コーナー
販売コーナー (1階ホワイエほか)	大会公式グッズの販売コーナー 高校生販売コーナー 鳥取県聴覚障害者協会の販売コーナー 等
手話パフォーマンス甲子園 紹介コーナー (1階エントランスロビー)	大会概要や過去の大会の様子を紹介パネル展示等
その他の催し等	・高校生郷土芸能ステージ(1階ホワイエ) ・Clara氏ワークショップ(1階情報プラザ) ・スタンプラリー、お土産コーナー(1階) ・協賛企業PRコーナー(1階) ・出場チーム紹介コーナー、・情報パネル、・ライブ映像 等

<マルシェ(前回)>



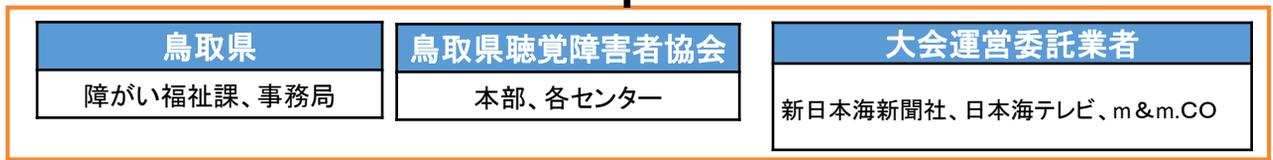
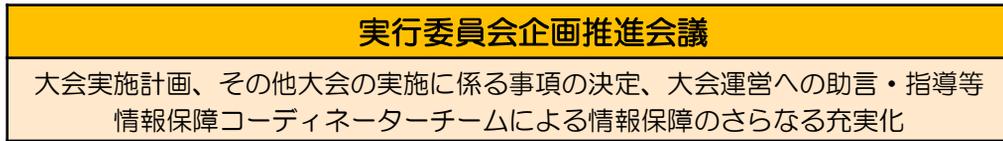
<高校生販売コーナー(前回)>



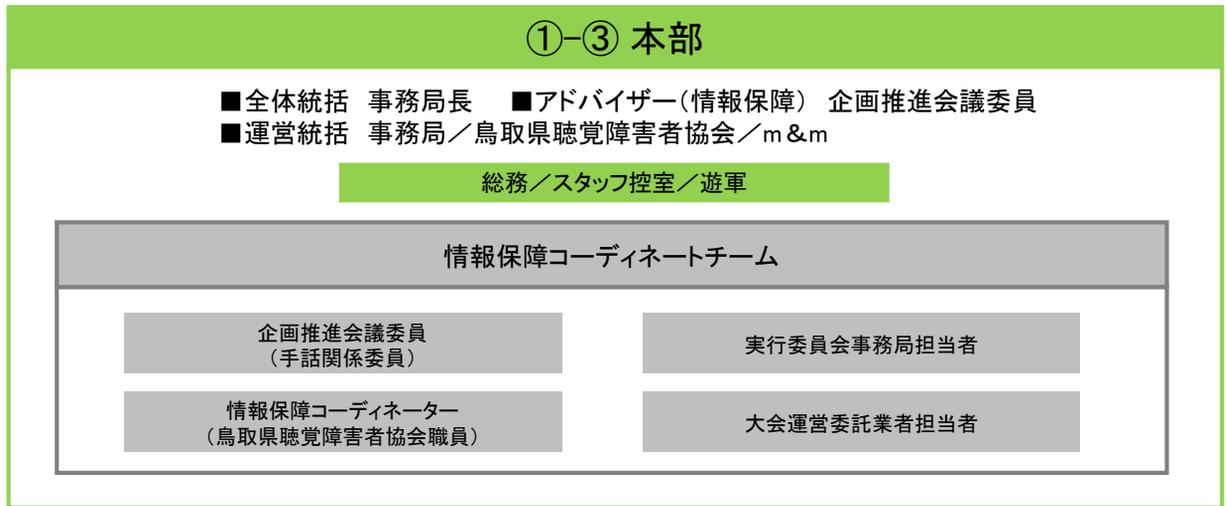
<ワークショップ(前回)>



●運営体制



●当日運営体制図(「○数字」は、本部系統のインカムライン)



	舞台監督 中城 貞夫 高知よさこい前夜祭で、10年以上舞台監督を務めており、手話パフォーマンス甲子園も第1～4回大会の舞台監督を担当しています。
---	--

◎手話通訳者
(鳥取県聴覚障害者協会より)
◎手話スタッフ
(全通研・県サ連より)

高校生ボランティア

手話パフォーマンス甲子園の本来の姿は、高校生が主体的に運営に参加することです。
 多くの高校生がろう者と触れ合う機会を作るため、第5回大会では、さらに高校生ボランティアの数を増やすとともに、大会運営の一躍を担うことができたという達成感を実感できる機会づくりを行います。

◎第5回 高校生ボランティア数 20名

■役割

出演者班	出場チーム管理	20名	出場チームの動きの管理 座席、直前の準備、ステージへのアテンド 昼食へほか、出場チームのサポート
------	---------	-----	--

◎第3回 高校生ボランティア数 6名

■役割

- 出演者班 出場校管理4名 出場校をステージや座席へ連れていくスタッフ
- 出演者班 リハ室管理1名 リハーサル室の管理、アテンド
- 出演者班 荷物管理 1名 出場校の預け入れ荷物の受付・管理

◎第4回 高校生ボランティア数 18名

(倉吉西高校 6名、米子松蔭高校 2名、鳥取湖陵高校 10名)

■役割

- 出演者班 出場チーム管理18名 出場校をステージや座席へ連れていくスタッフ

◎その他、高校生の大会参加

項目	内容	前回実績
高校生販売コーナー	高校生による物販等	鳥取湖陵・境港総合技術
高校生応援サポーター	PR映像やCM、新聞広告などに出演	青翔開智・倉吉東・米子北
高校生による郷土芸能ステージ	米子白鳳高校による淀江さんこ節	なし

手話スタッフ

全国手話通訳問題研究会・鳥取県手話サークル連盟の協力のもと、手話スタッフボランティアの協力をいただき、大会を運営する。

◎全国手話通訳問題研究会鳥取支部、鳥取県手話サークル連絡協議会 25名（予定）

班	場所	内容	人数
総合案内班	総合案内	手話アテンド(来場者への手話対応・会場案内ほか)	2名
会場班	情報プラザ	手話アテンド(来場者への手話対応・会場案内ほか)	4名
ホール班	多目的ホール 上手・前方 入口	手話アテンド(来場者への手話対応・会場案内ほか)	4名
	多目的ホール 上手・後方 入口	手話アテンド(来場者への手話対応・会場案内ほか)	4名
	多目的ホール 下手・前後 入口	手話アテンド(来場者への手話対応・会場案内ほか)	4名
	多目的ホール ホワイエ	手話アテンド、荷物検査係の手話対応補助ほか	4名
米子駅	おもてなしブース・タクシー乗場	手話アテンド、利用者へ自動車・タクシーのアテンド対応	3名

●米子コンベンションセンター(1階)

多目的ホール
(リハーサル日) ●リハーサル
(本大会) ●本番

情報プラザ

- サテライト会場
- 鳥取県学校写真展
- ワークショップ
- 鳥取県のお土産コーナー
- 手話パフォ公式グッズ販売
- 協賛企業PRコーナー

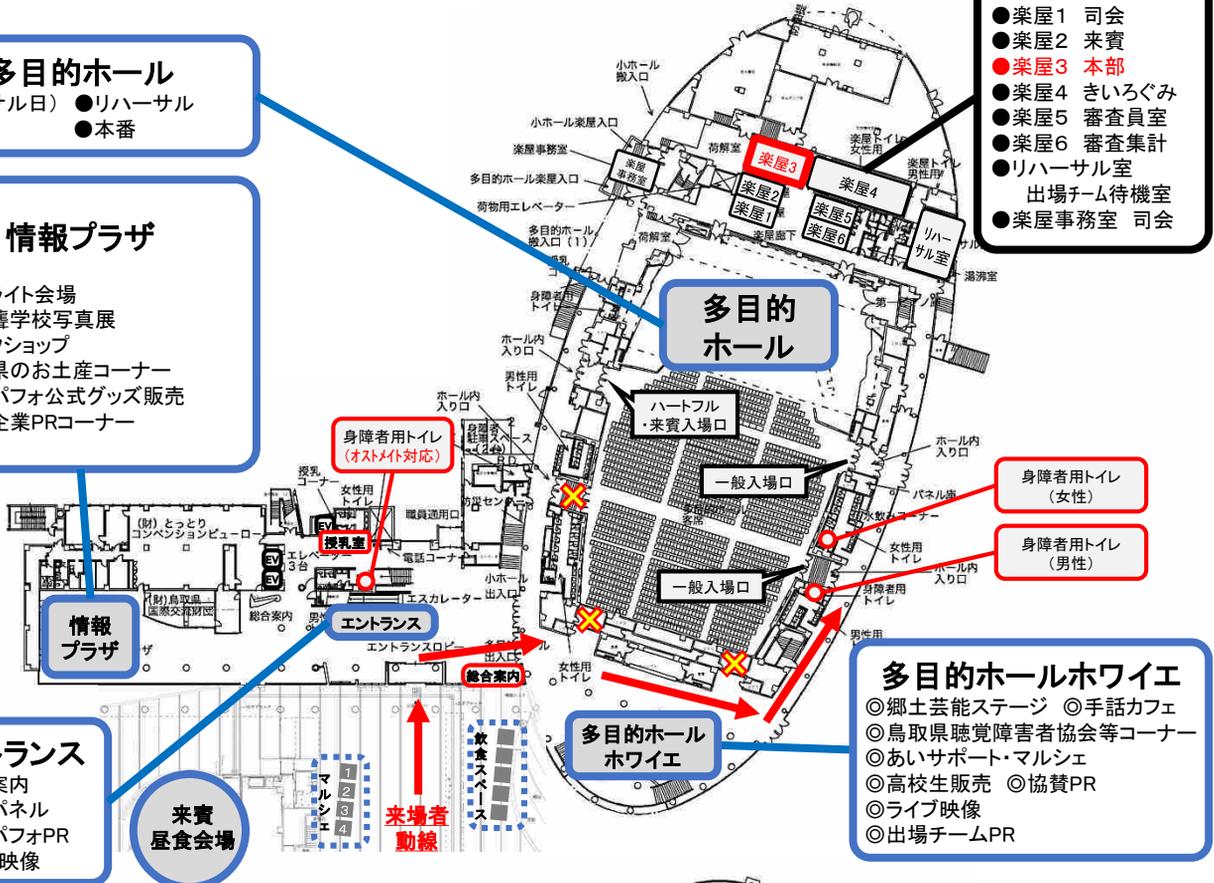
エントランス

- 総合案内
- 情報パネル
- 手話パフォPR
- ライブ映像

**来賓
昼食会場**

楽屋・リハ室

- 楽屋1 司会
- 楽屋2 来賓
- 楽屋3 本部
- 楽屋4 きいろぐみ
- 楽屋5 審査員室
- 楽屋6 審査集計
- リハーサル室
- 出場チーム待機室
- 楽屋事務室 司会



●米子コンベンションセンター(2階)

国際会議室
(リハーサル日) ●出場チームリハーサル
(本大会) ●出場チームリハーサル

(両日)

- スタッフルーム
- 女性更衣室
- 特別控室
- 男性更衣室



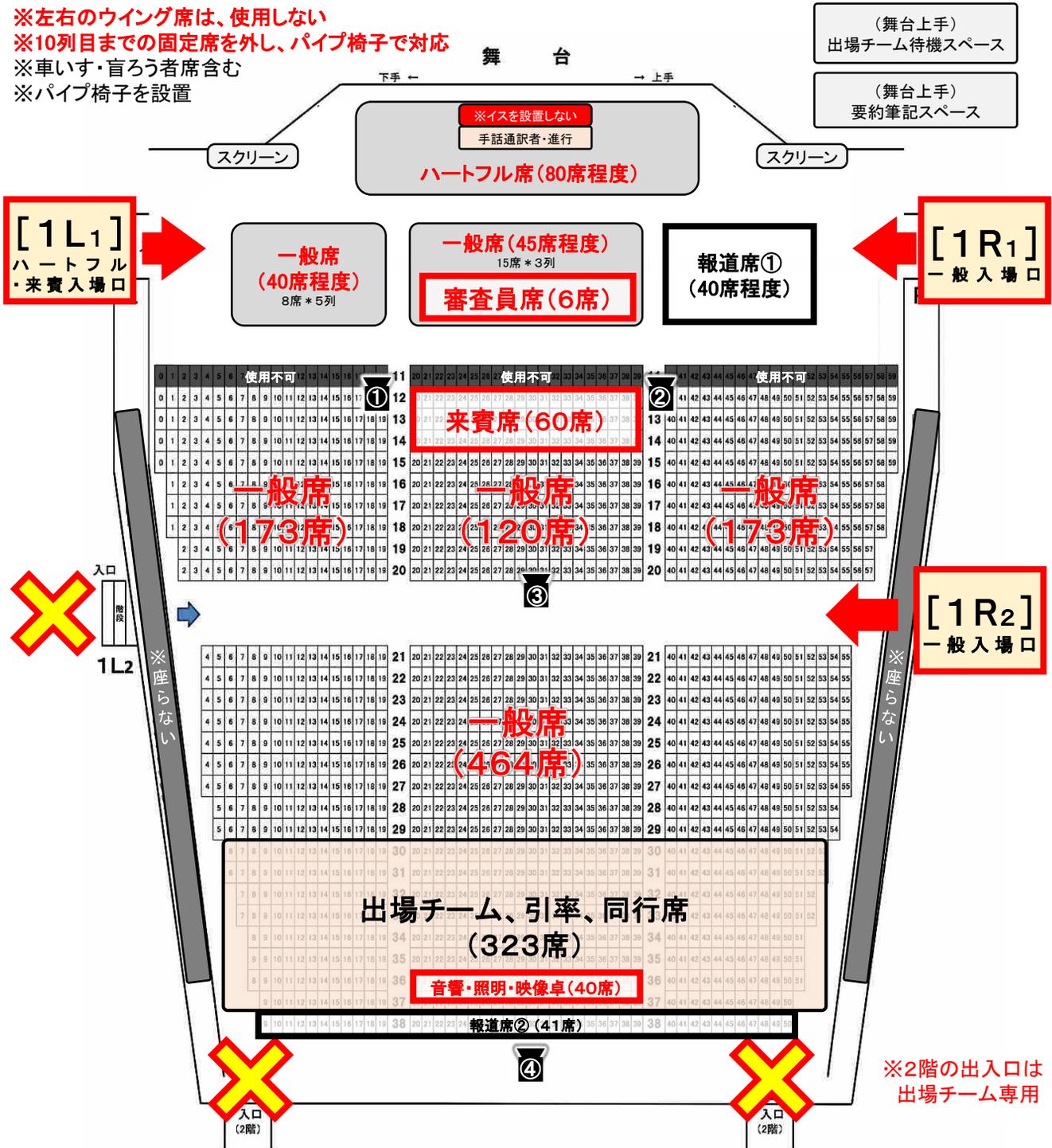
3階

- 身障者用トイレ(狭)
- EV
- エレベーター
- 【第1】(会議室) 救護室
- 【第2】(会議室) 託児室
- 【第3】(会議室) スタッフルーム

1609席

- ◎一般席(1015席) ◎ハートフル席(80席/車いす・盲ろう者席含む)
- 出場チーム、引率、同行者席(323席)
- 報道席(81席) ○音響・照明・映像関係(40席) ○来賓席(60席)

※左右のウイング席は、使用しない
 ※10列目までの固定席を外し、パイプ椅子で対応
 ※車いす・盲ろう者席含む
 ※パイプ椅子を設置



一般来場者の座席は「ハートフル席(80席)」「一般席(1015席)」の2つに分けます

ハートフル席

(1階前方入口(1R1)から誘導)1階の80席をハートフル席として開放。
 体の不自由な方やお年寄りを優先的に、ステージやモニタ近くに誘導します。
 ◎障がいのある方 ◎車椅子を利用される方 ◎歩行が大変な方 ◎妊婦の方ほか

一般席

(1階後方入口(1R2)から誘導/2階入口は使用しない)
 前方から埋めていく

●モニター／情報保障計画

モニターに表示する映像は、挨拶・パフォーマンスともに極力正面から手話を撮影します。
撮影方法については、実行委員会および情報保障コーディネーターチームにて協議して決定して行きます。

■多目的ホール（300インチLEDモニター・200インチ又は120インチスクリーン）

■式典・インタビュー時

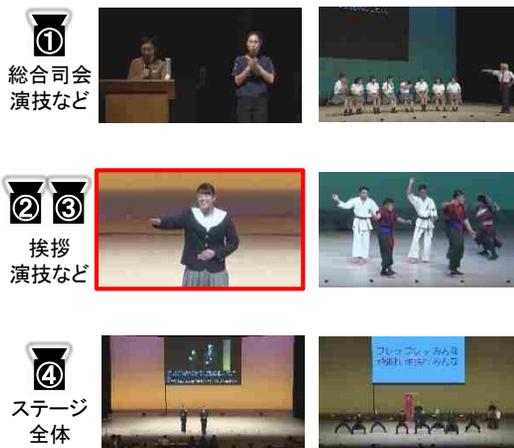


■パフォーマンス時



表示場所	表示内容	
	■式典・インタビュー時	■パフォーマンス時
300インチ LEDモニター	①手話通訳 ②要約筆記 ③ライブ映像	演出映像
200インチ(又は120インチ) 程度 スクリーン(上手)	ライブ映像	ライブ映像
120インチ程度 スクリーン(下手)	テロップ (演目名ほか)	テロップ 出場チーム 演目名ほか

(ライブ映像イメージ) ※カメラNOは、座席計画を参照



※挨拶時も正面から撮影
(カメラ配置については、現地下見後に調整します)

その他登壇する出演者(ろう者)への情報保障として
①②を実施します。
①手話通訳者@舞台上手袖・下手袖・舞台下(最前列)
②情報保障モニター@舞台上手袖
※演技前に舞台上袖で待機する出演者にステージの様子がわかるようにします。

※最終的な手話通訳・要約筆記エリアについては、関係者・団体と調整。

■情報プラザ(サテライト会場)

(スクリーン・プロジェクター投影)
※全て音声ありのライブ映像

■エントランスロビー ■多目的ホールホワイエ

(50インチモニター上映)
※全て音声ありのライブ映像

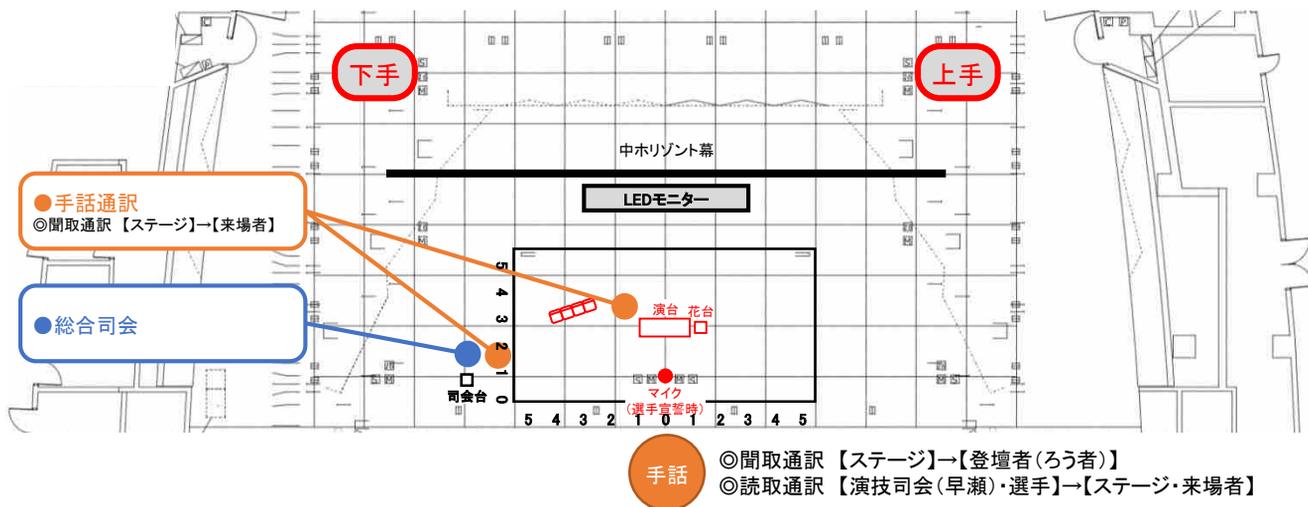
■ライブ配信

※著作権の関係で一部音声なし
※演目などをテロップ表記します

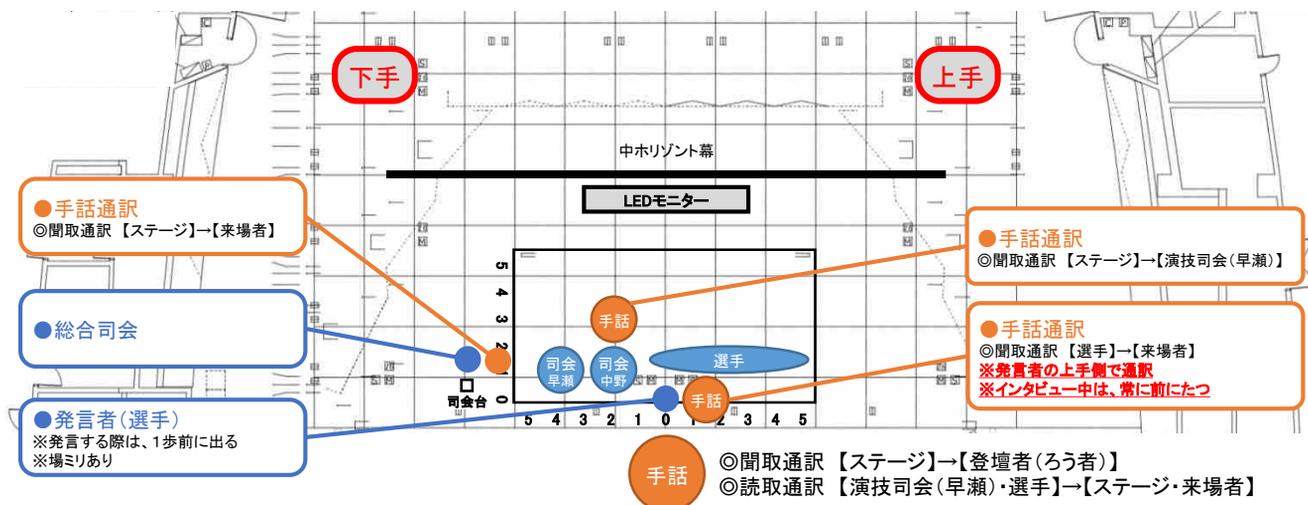


ステージ上、LEDモニターを含めた
画角の映像を流します。

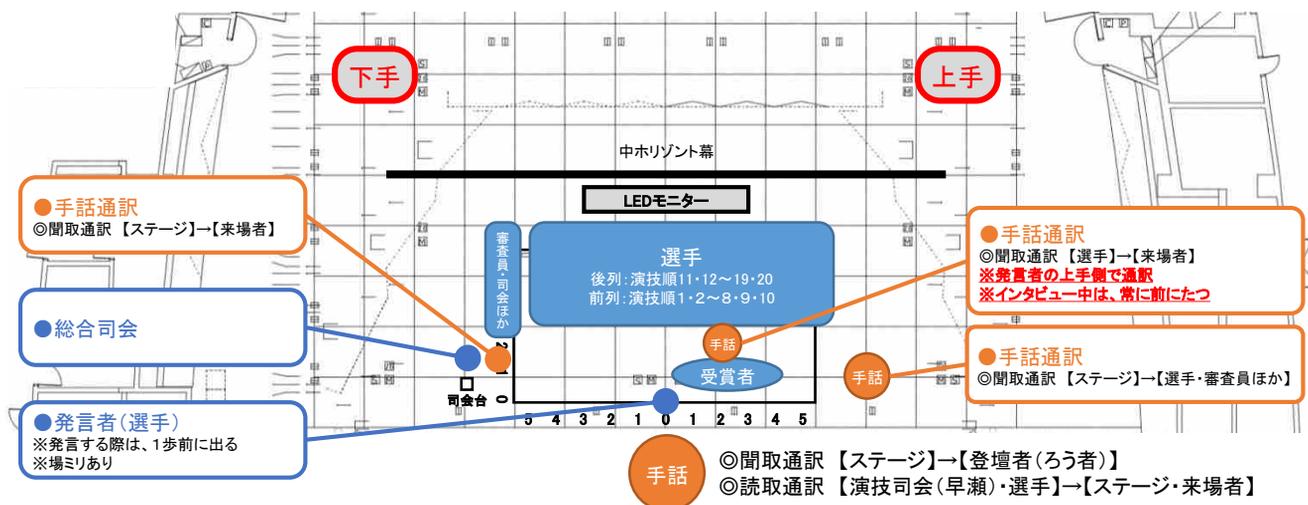
●手話通訳配置 / 式典時 (LEDモニター位置、調整中)



●手話通訳配置 / パフォーマンス・インタビュー時 (LEDモニター位置、調整中)



●手話通訳配置 / 表彰式時 (LEDモニター位置、調整中)



◎「読取通訳」 手話言語 → 日本語 / ◎「聞取通訳」 日本語 → 手話言語

●会場イベント一覧

会場イベント内容	場所	時間	内容
総合案内	エントランスロビー	終日	
情報パネル	エントランスロビー	終日	
ライブ映像①	エントランスロビー	終日	ステージイベントの様子を投影 (エントランスロビーおよび多目的ホールホワイエ)
手話パフォーマンス甲子園 PRコーナー	エントランスロビー	終日	過去大会をパネル・映像で紹介します

会場イベント内容	場所	時間	内容
サテライト会場	情報プラザ	終日	臨場感あるステージイベントの様子を投影
鳥取聾学校写真展	情報プラザ	終日	鳥取聾学校写真部による写真展
選べるワークショップ	情報プラザ	終日	誰でもできる選べる簡単ワークショップとして3つを用意！ ①砂像色付け体験、②オリジナル缶バッジづくり 等
鳥取のお土産コーナー	情報プラザ	終日	鳥取のお土産の販売
手話パフォーマンス甲子園 公式グッズ販売	情報プラザ	終日	グッズ販売コーナー(すずかけ・モルタルマジック)
協賛企業PRコーナー①	情報プラザ	終日	協賛企業のPRコーナー

会場イベント内容	場所	時間	内容
郷土芸能ステージ	多目的ホールホワイエ (ステージ)	12:00~	地元鳥取の高校生の郷土芸能ステージとして、全国からの来場者のおもてなし
手話カフェ (飲食コーナー①)	多目的ホールホワイエ (ステージ)	終日	手話カフェsignの出張カフェコーナー
鳥取県聴覚障害者協会 コーナー	多目的ホールホワイエ	終日	グッズ販売コーナー
あいサポート・マルシェ①	多目的ホールホワイエ	終日	障がい福祉サービス事業所などによる飲食販売コーナー (多目的ホールホワイエおよび屋外)
高校生販売コーナー	多目的ホールホワイエ	終日	鳥取県内の高校生がつくった食品などの販売コーナー
ライブ映像②	多目的ホールホワイエ	終日	ステージイベントの様子を投影 (エントランスロビーおよび多目的ホールホワイエ)
協賛企業PRコーナー②	多目的ホールホワイエ	終日	協賛企業のPRコーナー
出場チームPRコーナー	多目的ホールホワイエ	終日	出場チームの紹介パネル展示

会場イベント内容	場所	時間	内容
飲食コーナー②	屋外	終日	飲食エリア (多目的ホールホワイエおよび屋外)
あいサポート・マルシェ②	屋外	終日	障がい福祉サービス事業所などによる飲食販売コーナー (多目的ホールホワイエおよび屋外)

会場イベント内容	場所	時間	内容
救護室	第1会議室	終日	
託児室	第2会議室	終日	総合案内にて受付
スタッフルーム	第3会議室	終日	

①手話カフェの開設



場所:ホワイエ

期日:イベント前日・当日

来場者、出場チームの交流の場となる「手話カフェ」を会場内にオープン。ろう者と聞こえる人の交流を推進するだけでなく、出場チームの交流スペースとします。協力:手話カフェsign

②ワークショップの充実



場所:情報プラザ

期日:イベント当日

もっとワークショップを充実して欲しいという、来場者アンケートを受け、今年は3つのワークショップを開催し、子どもやお年寄りでも、参加しやすい大会とします。

①砂像色付体験、②缶バッチづくり、等

③手話パフォスタンプラリー

来場者に、手話・ろう者への理解と交流の促進を図るために、「手話スタンプラリー」を開催します。

◆内容

会場内に5つのスタンプラリーボードを設置し、スタンプを集めると、「参加賞」と「抽選券」がもらえる。

○参加賞

参加した全員に、障がい者福祉サービス事業所の商品をプレゼント。



来場者プレゼント(スタンプラリー景品)



大山開山1300年記念

大山開山1300年を記念し、スタンプラリーの景品として「手話パフォ×大山開山1300年」オリジナル花の種をプレゼント。大山開山1300年のPRにも繋がります。

④HAND SIGN SCHOOL PROJECT



場所:米子市内の高校 2~3校(調整中)

期日:9月

手話パフォーマー、HANDSIGNメンバーが米子市内の高校を訪れ、手話の魅力、大会の魅力を高校生にPRし、イベントへの来場を促進します。

大会公式テーマソング【大会当日・CM・WEBで使用可】

HANDSIGN「この手で奏でるありがとう」

第一回大会から手話パフォーマンス甲子園に携わっていただき、ろう者にも、絶大な人気を誇る、HANDSIGNの楽曲を、公式大会テーマソングとして使用。CMやWEBへ活用することで、音楽を通して高校生へのPRを図ります。



● 駐車場計画 約2,600台 (内ハートフル駐車場34台)

NO		一般	ハートフル	出演者	大型	合計
1	ピックアップ駐車場		34	20	4	58
2	ピックアップ前駐車場 無料対応	917				917
3	イオン米子駅前店 立体駐車場 無料対応	1561				1561
4	(臨時)西部総合事務所駐車場	100	←バス・スタッフ用として			100
	合計	2,578	34			約2,600



バス・スタッフ駐車場として
西部総合事務所 駐車場(100台)
徒歩12分(要調整)

ピックアップ前駐車場が「満車」になった場合

イオン米子駅前店 立体駐車場に誘導

※2ピックアップ前駐車場・3イオン米子駅前店 立体駐車場は、総合案内で無料処理を行う

■ピックアップ駐車場

●ハートフル34台 ●出演者・関係者24台(内大型4)



ハートフル専用の駐車場を確保し、
パスを発行します



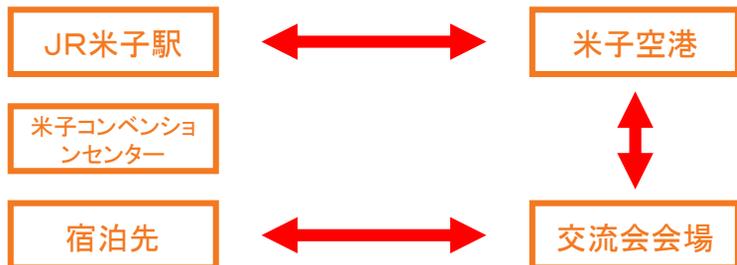
- 障がいのある方
- 車いすの方
- 歩行が大変な方
- 妊婦の方

- 1) 警備員が「ハートフル駐車場はご利用ですか？(ボード表示)」と伺い、該当した場合はパスを発行
- 2) 警備員が誘導して専用スペースへ
- 3) 必要がある場合、駐車場から総合案内までアテンド



●(前日当日 出場チーム・来賓)

必要に応じ、出場チーム・来賓の「JR米子駅」「米子コンベンションセンター」「宿泊先」「米子空港」「交流会会場」間の送迎を実施。



◎大型運行
 収容人数:26席
 (車イス1台)
 (立乗り時56名)
 低床バス スロープ付き

●(当日 来場者)

車イスが積載可能な福祉タクシー1台を配置

JR米子駅 ⇄ 米子コンベンションセンター
 8:00~18:00 ※随時運行



ワークフロー

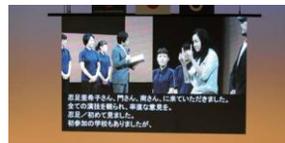
- ① JR米子駅・米子コンベンションセンター 福祉タクシー係を配置
- ② 福祉タクシーはどちらかに待機
- ③ 必要な方がいれば、携帯で呼び出し、随時送迎

それぞれのスタッフが乗車アテンドを行います。

全国に誇る アクセシビリティな大会へ

障がいの有無に関わらず、あらゆる人が参加しやすい環境を作ります。

障がい者種別	内容	内容
聴覚障がい	大型LEDスクリーン	ステージに大型スクリーンを設置し、①手話通訳 ②要約筆記 ③ライブ映像の3つの情報集約し、ひとつのスクリーンで全ての情報を得られるようにします
	上手下手スクリーン	上手下手にスクリーンを設置し、演技中は、ライブ映像を配信し、選手の表情が見れるようにします。また、緊急時は、大型スクリーン同様、文字情報で、状況の説明を行います。
	手話通訳	ステージに手話通訳スタッフを配置します。
	要約筆記	ステージスクリーンに要約筆記を表示します
	手話スタッフの配置	総合案内・ホール等に手話スタッフを配置します。
	情報ボード	総合案内に情報ボードを設置し、現在のステージの演技者情報、緊急時情報などを表示します。
	タブレット文字情報	会場にタブレット端末を配置し、要約筆記の文字をお手元でご覧いただけます。(台数10台)
視覚障がい	SPコード	チラシやプログラムにSPコードを配置します
肢体不自由	車椅子席の設置	車椅子席＋介添用席を設けています。
全体	ハートフル席の設置	体の不自由な方や介添の方に、ゆとりのある席で見ってもらうため、ハートフル席を設置。自己申告制で、優先的に席にご案内します
	ハートフルスタッフ	サポートが必要な方には、ハートフルスタッフが付き添い、イベント期間中にサポートを行います。
	教護室の設置	重度の障がい者など、観覧中に、休憩したい方のために、横になれるベッドを備えた教護室を設置。専門のスタッフを配置しています。
	情報パネル	エントランスロビーに情報パネルを設置し、どこでどんなイベントが行われているかを、分かりやすくします。
	SNSでの情報発信	大会当日、SNSで情報発信し、文字を通して情報共有して頂きます。
	インターネット動画配信	会場に来れない方のために、インターネットでの動画配信を行います。
	福祉タクシー	当日は、JR米子駅に福祉タクシーを配置し、車イスでの来場のサポートを行います。



運営スタッフのおもてなしの心

■ 荒天時対応

荒天時

米子市内に警報発令等

開催か中止の判断

当日AM5:00時点

中止の場合

- ◎鳥取県⇒各関係機関へ連絡
- ◎統括⇒各班へ連絡
- ◎進行班⇒各出演者へ連絡
- ◎出演者班⇒出場チームへ連絡

来場者へは、会場「3×6看板」に「本日は中止となりました」紙を張り 周知を行う
来場者対応として、スタッフを配置し、中止を喚起
特設HP/Facebook等で、中止を告知

開催の場合

- ◎鳥取県⇒各関係機関へ連絡
- ◎統括⇒各班へ連絡
- ◎進行班⇒各出演者へ連絡
- ◎出演者班⇒出場チームへ連絡

特設HP/Facebook等で、開催を告知

- ◎3×6看板へのビニールがけ
- ◎傘袋の用意等

■ 緊急時対応

全スタッフ

- ①落下物の恐れがないか
- ②来場者がパニックにならないよう落ち着かせる



運営本部に集合

(主催者・統括スタッフ・米子コンベンションスタッフ)

協議後

指示を各班に伝え、来場者を誘導

- ◎総合案内班 情報ボードに情報を掲載
- ◎進行班 スクリーンに情報を掲載

◎ 広報一覧

内容	仕様	部数	5月			6月			7月			8月			9月		
ポスター	B1 40枚								納品								
	B2 9,000枚								納品								
チラシ①	出場チーム決定前	A4 30,000枚					納品										
チラシ②	出場チーム決定後	A4 160,000枚										納品					
のぼり	開催PR篇	300枚							納品	設営							
のぼり	大会紹介篇	30枚							納品								
卓上のぼり	開催PR篇	80枚							納品								
卓上のぼり	大会紹介篇	30枚							納品								
横断幕	W800cm×H90cm	1枚							納品	設営							
懸垂幕	W90cm×H1000cm	1枚							納品	設営							
	W70cm×H840cm	1枚							納品	設営							
うちわ	5,000枚								納品								
封筒	10,000枚								納品								
大会PR映像①	参加チーム募集案内						納品										
大会PR映像②	大会の紹介、出場チーム決定												納品				
大会PR映像③	大会及び出場チームの紹介														納品		
大会PR映像④	大会ダイジェスト、次回大会の告知															10月以降納品	
記録映像	大会ダイジェスト(100分)															10月以降納品	
テレビCM	大会開催篇	NKT 15秒×30本														放送	
ラジオCM	大会開催篇	FM山陰 20秒×5														放送	
テレビ番組①	大会開催篇	NKT 2分番組														放送	
テレビ番組②	大会開催篇	NKT 2分番組														放送	
新聞広告①	大会開催篇	記事体広告														掲載	
新聞広告②	大会開催篇	記事体広告														掲載	
新聞広告③	大会開催篇	記事体広告														掲載	
折込広告	チラシ②を使用	30,000部折込														折込	
地元情報誌	ウサギの耳(東部・中部版)															掲載	
地元情報誌	ウサギの耳(西部版)															掲載	
報告書	大会開催篇	7,000部														10月以降納品	
パブリシティ			新聞・テレビ等で随時実施。														

- ・その他県広報誌等の媒体やイベント等でのPRを実施
- ・新聞、テレビの記事やニュースを通じて大会情報を発信

●予選審査会 1日目 8月2日(木)

- ・ビデオ審査(動画上映3分+審査2分*各チーム)
※10チームごとに休憩を挟みながら実施
※申込チーム数により、2日目もビデオ審査を実施する



●予選審査会 2日目 8月3日(金)

- ・出場チーム選出協議
- ・審査結果発表会/演技順抽選会

【審査員】4名(庄崎審査員長、小中審査員、門審査員、寺川審査員)

時間	内容
	●報道・一般受付
30分程度	<p>●式次第</p> <p>1 司会あいさつ ◎手話パフォーマンス甲子園の開催趣旨等を説明</p> <p>2 主催者あいさつ及び概要説明【鳥取県】 ◎大会概要 ◎募集結果 ◎選出方法 ◎審査会の状況 ◎当日の発表順について</p> <p>3 審査委員長あいさつ【庄崎審査員長】 ◎審査の全体の状況を説明</p> <p>4 審査発表【庄崎審査員長】 i 地域ブロック 6チーム ii 得点枠 12~13チーム iii 開催地枠 1チーム又はなし iv 初出場枠 1チーム v 全体の講評</p> <p>5 本大会発表順抽選方法説明 i 出場チームの得点20位~11位を発表 ii 午前中の演技順を抽選【●●委員】※1番目=初出場枠、2番目=開催地枠 iii 出場チームの得点10位~1位を発表 iv 午後の演技順を抽選【●●委員】 v 選手宣誓チームの抽選【●●委員】</p> <p>6 庄崎審査員長あいさつ 7 閉会のあいさつ【司会者】</p>
	●終了

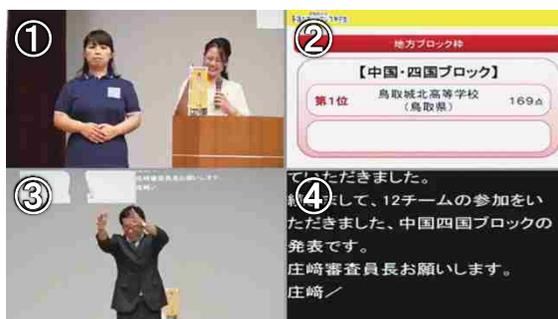
●予選審査会 モニター・配信/情報保障計画

ライブ配信映像(結果発表の様子)は、画面を4分割し配信します。

- ①手話通訳者(より)
- ②スクリーン映像
- ③ライブ映像
- ④要約筆記

※手話で話す場合

③のライブ映像は、手話の読み取りがしやすいようにアップで配信します。



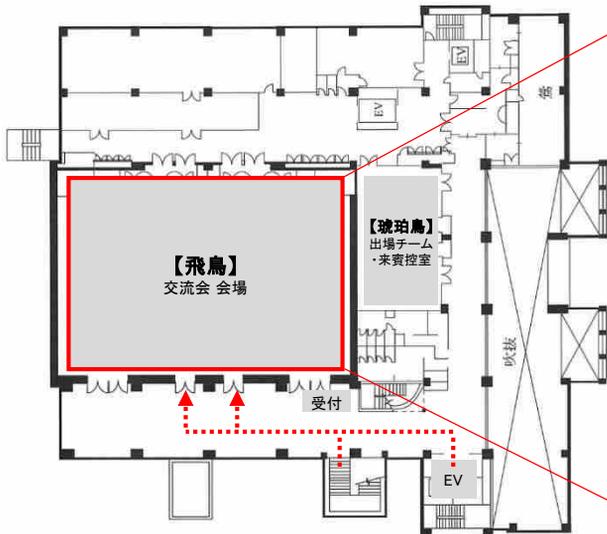
- 日 時 平成30年10月6日(土) 18:00~20:00
- 会 場 ANAクラウンプラザホテル米子 飛鳥の間
(米子市久米町53番2号)
- 主 催 鳥取県、手話パフォーマンス甲子園実行委員会
- 出席者 約250名
 - ◎ 出場者(生徒、引率者)
 - ◎ 出演者(審査員、ゲスト等)
 - ◎ 来賓(全日本ろうあ連盟、日本財団、鳥取県議会等)
 - ◎ 主催者(鳥取県、鳥取県聴覚障害者協会、手話パフォーマンス甲子園実行委員会委員等)
- 形 式 立食ビュッフェ方式、テーブル指定
- 次 第



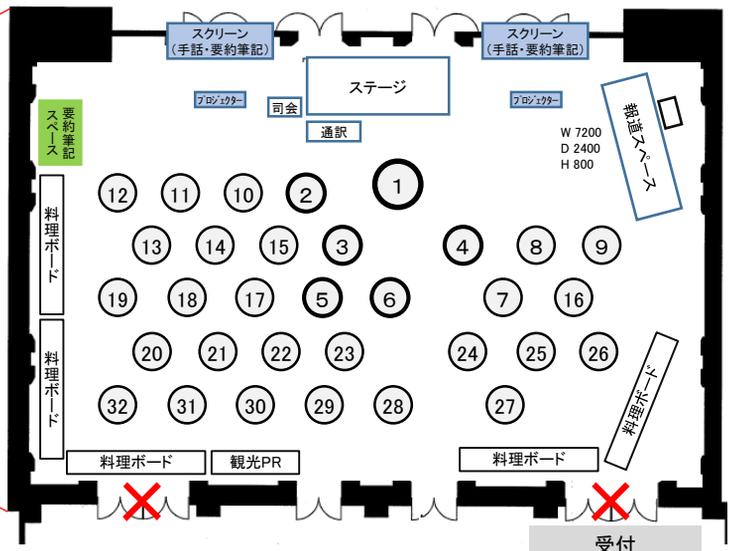
時間	項目	内容
18:00	開会	
	主催者あいさつ	実行委員会会長
	乾杯	
	歓談	(出席者間で交流を深める)
	演技司会者紹介	
	出場チームの抱負	各出場チームごとに、大会への意気込みを発表
	歓談	
	ゲストパフォーマンス	井崎哲也氏(サインマイム)
	歓談	
	出場チームへのエール	
	閉会あいさつ	主催者
20:00	閉会	



■ 会場図(2階)



■ 飛鳥の間(仮) ※出場チーム決定後、レイアウト調整





全国高校生
手話パフォーマンス甲子園

○主催

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

鳥取県・鳥取県教育委員会・全日本ろうあ連盟・日本財団
鳥取県聴覚障害者協会・全国手話通訳問題研究会鳥取支部・鳥取県商工会議所連合会

○共催

鳥取県・公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

○特別協力

全日本ろうあ連盟

○特別協賛

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

○後援(予定)

内閣府、厚生労働省、文部科学省、米子市、手話を広める知事の会、全国手話言語市区長会、一般社団法人全国手話通訳問題研究会、一般社団法人日本手話通訳士協会、全国聾学校長会、全国高等学校文化連盟、社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団、社会福祉法人NHK厚生文化事業団、社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国難聴児を持つ親の会、日本演劇教育連盟、日本障害フォーラム、日本赤十字社鳥取県支部、鳥取県青少年赤十字指導者協議会、朝日新聞社、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、産経新聞社、日本経済新聞社鳥取支局、新日本海新聞社、山陰中央新報社、中国新聞鳥取支局、共同通信社鳥取支局、時事通信社鳥取支局、NHK鳥取放送局、BSS山陰放送、日本海テレビ、TSK山陰中央テレビ、テレビ朝日鳥取支局、鳥取県ケーブルテレビ協議会、エフエム山陰、FM鳥取、DARAZ FM

資料4

第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に係る今後の日程について

平成30年7月5日現在

日程	内容	備考
平成30年2月7日	H29 実行委員会総会	第5回大会開催決定、第5回大会基本計画、H29補正予算
平成30年2月20日	H29 第4回企画推進会議	第5回大会開催要項、予選審査・選考方法
平成30年4月12日	第5回大会の開催日決定	同日、第5回大会の日程及び開催要項公表
平成30年4月	H30 実行委員会（第1回書面会議）	
平成30年4月	大会チラシ、ポスター等の送付	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の高等学校、特別支援学校等 ・各都道府県、政令指定都市 （障がい福祉担当課、教育委員会） ・手話言語条例制定市町 ・各都道府県全国ろうあ連盟加盟団体 ・県内各市町村 ・県内公共施設 等
平成30年5月21日	参加申込み受付開始	
平成30年7月5日(木)	H30 企画推進会議(第1回)	第5回大会実施計画等
平成30年7月6日(金)	参加申込み期限	
平成30年7月19日(木)	予選審査動画の提出期限	
平成30年8月2日(木) 8月3日(金)	予選審査会 結果発表	動画視聴による審査。 3日に結果発表、本大会演技順番、選手宣誓チームの決定
平成30年8月下旬	H30 企画推進会議(第2回) (情報保障コーディネーターチーム併催)	第5回大会実施計画、予選審査結果
平成30年8月31日(金)	ヒアリングシートの提出	演技内容の詳細(シナリオ・楽曲等)の報告)
平成30年10月6日(土)	第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園リハーサル、交流会	リハ:米子コンベンションセンター 交流会:ANAクラウンプラザホテル米子
平成30年10月7日(日)	第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園本大会	米子コンベンションセンター
平成30年11月	H30 企画推進会議(第3回)	第5回大会開催結果の報告、意見交換
平成31年2月	H30 実行委員会総会	第5回大会開催結果、 次回大会の検討、H30補正予算
平成31年2月	H30 企画推進会議(第4回)	次回大会の検討

第5回

全国高校生

手話パフォーマンス甲子園

ご協賛のお願い

平成30年10月7日(日) 開催！
〔米子コンベンションセンター〕



【目的】

ろう者と聞こえる人が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話の魅力や手話が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらうとともに、手話とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を“手話の聖地”鳥取県で開催する。

【参加資格】 高等学校、特別支援学校高等部等に在籍する生徒

【内容】 手話を使った歌唱、ダンス、演劇、ポエム、コント、落語、漫才などで競う。

【主催】 手話パフォーマンス甲子園実行委員会
(鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会の共催)

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

団体協賛にご協力お願いします！

団体協賛とは、企業等が行う協賛のことをいいます。

【資金協賛】…1口**1万円**から、資金の提供をお願いします。

【物品協賛】…大会の実施に要する物品の提供をお願いします。
(物品協賛の場合、金額換算します)



より協賛メリットを感じていただけるよう、特典等を見直しました！

- ①協賛金額枠に「3万円以上」を追加。
- ②以下の特典を追加。
 - ・大会公式SNSでの協賛者名の紹介(3万円以上)
 - ・大会公式ロゴマークの使用(//)
 - ・大会会場に設ける協賛者PRコーナーへのチラシ等の掲示(10万円以上)
 - ・大会PR用ののぼり、うちわ等への企業ロゴの掲載(50万円以上)

【協賛物品の例】

- ・のぼり
- ・卓上のぼり
- ・参加者用バッグ
- ・参加者用タオル
- ・参加者用記念商品
- ・大会入賞チームへの副賞賞品
- ・大会出場チームへの参加賞賞品
- ・大会参加者、運営スタッフへ提供する飲食料品



【協賛についての問い合わせ、申し込み先】

手話パフォーマンス甲子園実行委員会事務局
(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 障がい福祉課社会参加推進室内)
電話:0857-26-7678 ファクシミリ:0857-26-8136
メール:s-koushien@pref.tottori.lg.jp

団体協賛者特典一覧

よりメリットを感じていただけるよう、赤枠の内容を追加しました。

協賛特典	協賛金額				備考
	50万円以上	10万円以上	3万円以上	1万円以上	
1 大会協賛者の呼称の使用	○	○	○	○	
2 大会ホームページへの協賛者名の掲載	○	○	○	○	掲載順は金額の高い順となります。(同額の場合は申込順)
3 大会公式SNSでの協賛者名の紹介	○	○	○	—	1協賛者につき1回程度
4 協賛者ホームページへのリンク	○	○	○	—	
5 大会公式ロゴマークの使用	○	○	○	—	
6 大会プログラムへの企業名の掲載	○	○	○	—	掲載順は金額の高い順となります。(同額の場合は申込順)
7 実行委員会が発行する刊行物への協賛者名の掲載	○	○	—	—	掲載順は金額の高い順となります。(同額の場合は申込順)
8 大会プログラムへの企業広告の掲載(4色カラー)	○	○	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・50万円以上 A4 1/2頁 ・25万円以上 A4 1/4頁 ・10万円以上 A4 1/8頁
9 大会会場に設ける協賛者PRコーナーへのチラシ等の掲示	○	○	—	—	
10 大会PR用ののぼり、うちわ等への企業ロゴの掲載	○	—	—	—	平成30年6月15日(金)頃までに協賛いただいたものに限ります。

- (注) 1 上記1~5, 7及び10は協賛後順次、6, 8及び9は大会開催当日に特典が受けられます。
 2 全ての協賛者へ手話パフォーマンス甲子園実行委員会会長から感謝状を交付します。
 3 大会プログラムは、大会来場者に配付します。(最大2,500部発行予定。公式HPにも掲載)
 4 上記8の企業広告については、原稿を作成の上、大会開催1ヶ月前までに実行委員会へ納入してください。
 5 上記1~10のほか、大会当日、会場の受付にて協賛者の一覧を表示します。

広告掲載例 (大会プログラム)



個人協賛にご協力お願いします！

個人協賛とは、個人が行う協賛のことをいいます。

【資金協賛】…1口**1千円**から、資金の提供をお願いします。

【物品協賛】…大会の実施に要する物品の提供をお願いします。



【協賛物品の例】

- ・のぼり
- ・卓上のぼり
- ・参加者用バッグ
- ・参加者用タオル
- ・参加者用記念商品
- ・大会入賞チームへの副賞賞品
- ・大会出場チームへの参加賞賞品
- ・大会参加者、運営スタッフへ提供する飲食料品

協賛特典	協賛金額			備考
	1万円以上	5千円以上	1千円以上	
1 大会記念グッズのプレゼント	○	○	○	<記念グッズ例> キーホルダー、缶バッジ
2 大会実績報告書の贈呈	○	○	—	大会の成果や記録を取りまとめた30p程度の冊子(カラー)
3 大会への優先入場	○	○	—	大会の観覧席をご用意します。
4 大会記念DVDの贈呈	○	—	—	大会のダイジェスト映像(DVD)を進呈します。

- (注) 1 物品協賛の場合は、金額換算します。
 2 上記特典は、協賛者にそれぞれ1個(冊、席、枚)進呈します。
 3 上記1のグッズを選ぶことはできません。
 4 上記1及び3を除く特典は、原則として大会終了後に協賛者へ進呈します。
 5 大会終了後、1万円以上の協賛者へ手話パフォーマンス甲子園実行委員会会長からの感謝状を送付します。

【協賛についての問い合わせ、申し込み先】

手話パフォーマンス甲子園実行委員会事務局
 (鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 障がい福祉課社会参加推進室内)
 電話:0857-26-7678 ファクシミリ:0857-26-8136
 メール:s-koushien@pref.tottori.lg.jp

手話パフォーマンス甲子園応援自動販売機の米子コンベンションセンターへの設置について

平成30年7月5日

手話パフォーマンス甲子園実行委員会事務局

1 概要

手話パフォーマンス甲子園の大会 PR と自動販売機の一部売り上げを実行委員会の活動支援金とするため、とっとりコンベンションビューローの御協力を得て、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社に米子コンベンションセンター内へ自動販売機を設置していただくもの。

2 設置時期

平成30年7月下旬

3 設置場所

米子コンベンションセンター 1階 エントランスロビー内

4 設置する自動販売機

ユニバーサル（福祉）タイプ自動販売機

【デザイン】Clara 氏イラストを使用



【設置場所】



5 設置に係る協定締結について

- ・手話パフォーマンス甲子園実行委員会、公益財団法人とっとりコンベンションビューロー（米子コンベンションセンター指定管理者）、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社中国ベンディング営業部（自販機設置者）の3者で設置に係る協定を締結。（平成30年7月1日付け）
- ・自動販売機の売り上げ額の10%が手話パフォーマンス甲子園実行委員会に配分される。

6 備考

- ・現在、県内に3台（鳥取市文化センター、境港市保健相談センター、鳥取県聴覚障害者協会）設置しており、米子コンベンションセンターへの設置により4台目となる。

平成29年度 手話パフォーマンス甲子園実行委員会事業報告書

1 事業の目的

ろう者と聞こえる人が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話の魅力や手話が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらうとともに、手話とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を“手話の聖地”鳥取県で開催する。

なお、この大会を鳥取県及び公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会の共催で開催するに当たり、準備に万全を期するとともに、円滑な大会運営を図ることとする。

2 事業の内容

手話パフォーマンス甲子園の円滑な実施及び運営を図るため、以下の事業を行う。

ア 手話パフォーマンス甲子園の企画、準備及び運営に関すること。

イ その他手話パフォーマンス甲子園の目的を達成するために必要なこと。

3 事業の実績

日 程	内 容	備 考
平成29年2月中旬 (2月17日承認)	H28 実行委員会 (書面会議)	第4回大会開催決定、基本計画、H28補正予算、実行委員会設置運営要綱改正
平成29年2月20日	H28 第4回企画推進会議	第4回大会開催要項、予選審査・選考方法
平成29年4月30日	第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催日決定	同日、日程及び第4回大会の開催要項公表
平成29年4月	H29 実行委員会 (第1回書面会議)	H29 収支予算
平成29年5月	大会チラシ、ポスター等の送付	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の高等学校、特別支援学校等 ・各都道府県、政令指定都市 (障がい福祉担当課、教育委員会) ・手話言語条例制定市町 ・各都道府県全国ろうあ連盟加盟団体 ・県内各市町村 ・県内公共施設 等
平成29年5月15日	参加申込み受付開始	
平成29年6月	H29 実行委員会 (第2回書面会議)	H28 収支決算・設置運営要綱の改正
平成29年6月23日	H29 企画推進会議 (第1回)	第4回大会実施計画、参加申込み状況
平成29年7月3日	参加申込み期限	
平成29年7月20日	予選審査動画の提出期限	
平成29年8月2～3日	予選審査会	鳥取県庁 (動画視聴による審査)
平成29年8月21日	H29 企画推進会議 (第2回)	第4回大会実施計画、予選審査結果
平成29年9月30日	第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園リハーサル、交流会	とりぎん文化会館 ホテルニューオータニ鳥取
平成29年10月1日	第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園本大会	とりぎん文化会館
平成29年11月24日	H29 企画推進会議 (第3回)	第4回大会開催結果の報告、意見交換
平成30年2月7日	H29 実行委員会総会	第4回大会開催結果の報告、 第5回大会開催決定、H29年度補正予算
平成30年2月20日	H29 企画推進会議 (第4回)	第5回大会開催要項、予選審査基準及び本大会選考方法

4 第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催結果

別添のとおり。



第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催について

“手話の聖地”鳥取県に全国の高校生が集結し、手話を使ったパフォーマンスの表現力を競い合う「第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」（以下「大会」という。）を下記のとおり開催しました。

記

1 大会の概要

- (1) 開催日時 平成29年10月1日（日）午前9時15分から午後5時まで
 (2) 開催場所 とりぎん文化会館 梨花ホール（鳥取市尚徳町101番地5）
 (3) 演技内容 手話を使った歌唱、ダンス、演劇、コント、落語などのパフォーマンス
 (4) 参加資格 全国の高等学校・特別支援学校高等部等に在籍している高校生
 (5) 司会、ゲストパフォーマー、審査員

内 容	氏名（敬称略）	よみ	役職等
演技司会	早瀬 憲太郎	はやせ けんたろう	学習塾「早瀬道場」代表
	三城 千咲	みき ちさき	モデル・手話パフォーマー
総合司会	近藤 泰郎	こんどう たいろう	NHK鳥取放送局アナウンサー
ゲストパフォーマー	SoulImpression × SoulOBOG	そうるいんぷれっし よん	聴覚障がい者が在籍する国立大学法人筑波 技術大学産業技術学部のダンスサークル
審査員長	庄崎 隆志	しょうざき たかし	演出家・俳優
審査員	今村 彩子	いまむら あやこ	映画監督
	小中 栄一	こなか えいいち	全日本ろうあ連盟副理事長
	古川 鈴子	ふるかわ すずこ	手話通訳士・社会福祉士
	中野 佐世子	なかの さよこ	手話ニュースキャスター・手話通訳士
	高橋 千枝	たかはし ちえ	鳥取大学地域学部准教授・臨床発達心理士
スペシャルサポーター	山根 千佳	やまね ちか	タレント（本県出身）

- (6) 来場者数 約1,800人
 (7) 大会の観覧 自由席（入場無料）
 (8) 出場チーム 予選参加申込みのあった54チーム（55校）（27都道府県）のうち、予選審査を通過した20チーム（21校）（14都道府県）の精鋭が大会に出場

[内訳]

北海道1、宮城県1、東京都2、神奈川県2、石川県1、山梨県1、愛知県3、京都府1、奈良県2、鳥取県2、広島県1、福岡県1、熊本県1、沖縄県1
 （鳥取県からは、鳥取城北高等学校及び境港総合技術高等学校の2校が出場した。）

- (9) 同時に開催した催し

- ア あいサポート・マルシェ（1階フリースペース等）
障がい福祉サービス事業所による飲食物や雑貨等の販売
 イ 手話カフェ（1階展示室）
米子市にある手話カフェ sign によるドリンク類の提供。
 ウ 鳥取聾学校作品（写真）展（1階展示室）
鳥取聾学校生徒による写真作品の展示コーナー
 エ ウェルカムステージ（1階フリースペース）
今年の鳥取しゃんしゃん祭りでグランプリに輝いた百花繚蘭（ひゃっかりょうらん）による傘踊り
 オ 県内高校生（2校）の実習製品等の販売コーナー（1階フリースペース）
鳥取湖陵高等学校（農作物等）、境港総合技術高等学校（缶詰等）が出店
 カ 鳥取市在住デザイナーClara（くらら）氏のアートワークショップ（1階展示室）
 キ 公式グッズ販売コーナー、鳥取県特産品販売コーナー、鳥取県聴覚障害者協会販売コーナー、協賛企業PRコーナー（1階フリースペース）
 ク 手話パフォーマンス甲子園紹介コーナー（1階・2階会場入口前）
大会の紹介や過去の大会の様子を伝えるパネル展示、過去の大会の映像コーナー

- (10) サテライト会場（小ホール）

約400席のサテライト会場を小ホールに用意し、大型スクリーンにより大会の様子を放映した。

出演者の集合写真



2 表彰チーム・審査方法

(1) 入賞チーム及び表彰内容

表彰内容	チーム名	贈呈
優勝	奈良県立ろう学校 ※ (奈良県)	表彰状、鳥取砂丘の砂メダル(金)、優勝旗、 副賞(東京ディズニーリゾートパスポート+旅行券)
準優勝	きょうわ 杏和高等学校(愛知県)	表彰状、鳥取砂丘の砂メダル(銀)、盾、 副賞(鳥取県特産品)
第3位	大泉桜高等学校・ 立川ろう学校(東京都)	表彰状、鳥取砂丘の砂メダル(銅)、 副賞(鳥取県特産品)
審査員特別賞	まわし 真和志高等学校(沖縄県)	表彰状、副賞(鳥取県特産品)
全日本ろうあ 連盟賞	くまもとろう 熊本聾学校(熊本県)	各団体から、表彰状及び副賞が贈呈
日本財団賞	鳥取城北高等学校 (鳥取県)	
鳥取県聴覚 障害者協会賞	たつるはま 田鶴浜高等学校(石川県)	

※ 「命のつながり」をテーマにした独特でユーモアのある演劇で、1人1人が一生懸命演じることができたことに加え、その技術力の高さが評価され、見事優勝に輝いた。

(2) 審査方法(6名の審査員の審査得点の合計は最大300点。)

種別	人数	審査項目	配点
ろうの審査員	3名	○手話の正確性・分かりやすさ	30点
		○演出力・パフォーマンス度	30点(合計60点)
聞こえる審査員	3名	○演出力・パフォーマンス度	40点

表彰式(優勝)



チーム演技の様子



3 交流会の開催

大会前日の夜、出場高校生や司会、審査員などの大会出演者や来賓、関係者一同が会する交流会(立食パーティー形式)を開催した。

- ア 開催日時 平成29年9月30日(土) 午後6時から8時まで
- イ 開催場所 ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間(鳥取市今町二丁目153番地)
- ウ 出席者 出場高校生、チーム引率者、1(5)の出演者、来賓、その他関係者(約250人)
- エ ゲスト 大阪パントマイムグループ

(1978年に聴覚障がい者によって結成。今までに全世界で約600回公演の実績あり。)

交流会の様子1



交流会の様子2



4 第5回大会の開催

平成30年2月7日に開催した手話パフォーマンス甲子園実行委員会総会において、今年秋に第5回大会を開催することを決定した。なお、よりよい大会を目指し、手話パフォーマンス甲子園実行委員会の各委員や関係団体、出場チーム等からいただいたご意見等を踏まえ、第5回大会の開催に向けて改善に努めていきたい。

5 その他

- (1) 大会当日は、来場できない全国の方々を対象に、大会の様様について公式動画チャンネル (You Tube) 上でライブ中継を行った。
- (2) ステージ中央に大型LEDモニターを設置し、登壇者や手話通訳者、要約筆記を一体的に表示させた。また、高校生の演技中は手話通訳及び要約筆記は行わないが、演技中の台詞や歌詞等には字幕を必ず表示させることをルール化した。さらに、ステージ両袖にはステージの拡大映像 (演技者や手話等をアップで見ることが可能) 及びステージ上で現在何が行われるかが分かる文字情報を表示するスクリーンを新設した。その他、視覚障がい者向けの音声ガイドの実施や、ヒアリング (磁気) ループの案内を行うなど、共生社会を目指す大会の取組の一環として、情報保障の充実を図った。
- (3) 障がい者や怪我等で歩行が大変な方、妊婦の方などが利用できるハートフル席を会場の1階席前方スペースに用意した。(ステージ上の手話や要約筆記を間近で見ることできることや、入館後に階段を昇り降りすることなく着席することが可となる席。)
- (4) 絵かきの門 秀彦 (かど ひでひこ) 氏 (聞こえる人) が審査員の予定だったが、やむを得ない事情により、大会当日鳥取県に来ることができなくなったことから、1 (5) のとおり、急遽、審査員を古川 鈴子氏に変更した。
- (5) 手話パフォーマンスグループ HANDSIGN (ハンドサイン) の『僕が君の耳になる』を公式テーマソングに採用し、プロモーションで活用した。また、大会中、同曲のプロモーション映像を放映するとともに、リーダーの TATSU 氏に同曲に込められた思いを語ってもらった。
- (6) 大会当日、鳥取駅におもてなしブースを設置し、大会及び会場の案内や観光PRを行った。
- (7) 平成29年11月5日 (日) 午後4時30分から、日本海テレビ (日本テレビ系列) で60分間の大会のダイジェスト放送が行われた。また、平成30年3月3日 (土) から5回にわたって日本海ケーブルネットワーク (鳥取県東部・中部地区管内で放送されるケーブルテレビ) にて90分間のダイジェスト放送が行われた。
- (8) 平成29年11月11日 (土)、18日 (土) の2週にわたって、NHK Eテレ“ろうを生きる 難聴を生きる”にて、大会に出場した大泉桜高等学校・立川ろう学校 (いずれも東京都) の合同チームと鳥取城北高等学校 (鳥取県) の2チームを密着したドキュメンタリーが全国に向けて放送された。大会の様様を専門的に扱う番組としては、初めてとなる全国放送が実現したものの。

優勝した奈良県立ろう学校



準優勝した杏和高等学校



平成29年度手話パフォーマンス甲子園実行委員会 収支決算書

(1) 収入の部

(単位：円)

科 目	現計予算額	決算額	差 引	備 考
助成金	33,580,000	33,580,000	0	日本財団助成金
負担金	4,324,000	4,324,000	0	鳥取県負担金
協賛金	1,671,000	1,671,000	0	企業・団体・個人からの協賛金
手数料	150,000	151,908	1,908	応援自動販売機手数料
雑入	145,000	144,889	△111	寄付金、預金利息
前年度繰越金	889,355	889,355	0	前年度 (H28 年度) からの繰越額
計	40,759,355	40,761,152	1,797	

(2) 支出の部

(単位：円)

科 目	現計予算額	決算額	累 計	備 考
実行委員会運営費	500,000	499,032	△968	実行委員会開催経費 (旅費、会場使用料、通訳、飲料代 等) 実行委員会の運営経費 等
広報宣伝費	5,780,000	4,790,059	△989,941	チラシ、ポスター印刷費 広告費、テレビ番組制作費 等
大会開催費	9,479,355	9,478,580	△775	予選審査会開催経費 参加チーム助成金 大会開催経費 (旅費、会場使用料、通訳、飲料代 等) 交流会開催経費 関係機関との連絡調整費 等
大会運営委託費	25,000,000	24,983,060	△16,940	大会企画運営業務委託 委託業者選定審査会開催経費
計	40,759,355	39,750,731	△1,008,624	

(3) 来年度繰越額

(単位：円)

収入 (決算額)	支出 (決算額)	H30 年度への繰越額
40,761,152	39,750,731	1,010,421

※ 1,010,421 円については、H29 年度中に執行予定であった第 5 回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 (以下「大会」という。) の広報物 (チラシ・ポスター等) の印刷業務に係るもの。当初予定していた H29 年度中に大会日程が決まらず、発注できなかったことから、当該経費について、やむなく翌年度への繰越金とするもの。

※ したがって、H30 年度当初 (大会日程決定後) に、速やかに執行することとしている。

平成30年度 手話パフォーマンス甲子園実行委員会事業計画書

1 事業の目的

ろう者とうろう者以外の者が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話言語の魅力や手話言語が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらうとともに、手話言語とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を“手話の聖地”鳥取県で開催する。

なお、この大会を鳥取県及び公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会の共催で開催するに当たり、積極的な連絡調整を行うことで、準備に万全を期するとともに、円滑な大会運営を図ることとする。

2 事業の内容

手話パフォーマンス甲子園の円滑な実施及び運営を図るため、以下の事業を行う。

- ア 手話パフォーマンス甲子園の企画、準備及び運営に関すること。
- イ その他手話パフォーマンス甲子園の目的を達成するために必要なこと。

3 手話パフォーマンス甲子園の概要

(1) 概要

日 時	平成30年10月7日(日)(開催期間:1日) 午前9時から午後5時まで
場 所	米子コンベンションセンター 多目的ホール(米子市末広町294番地)
プログラム	1 開会式(関係者挨拶、優勝旗返還、選手宣誓、チーム紹介) 2 出場チーム演技(演技時間:1チーム当たり6分以上8分以内) 3 ゲストパフォーマーによる手話パフォーマンス 4 審査結果発表(審査員6名) 5 表彰式(賞状等授与) 6 総評 7 閉会

(2) 資格 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)・特別支援学校高等部・高等専門学校(3年生まで)・専修学校及び各種学校の修業年限が高等学校と一致している生徒(校長の推薦書が必要)

(3) 演技 手話を使った歌唱、ダンス、演劇、ポエム、コント、落語、漫才などのパフォーマンス

(4) スケジュール

ア 参加申込み期間

平成30年5月21日(月)から同年7月6日(金)まで

※ 予選審査動画の提出期限:7月19日(木)

イ 予選審査会

平成30年8月2日(木)から3日(金)まで(鳥取市内で開催)

※ 予選審査結果発表は、8月3日(金)に公開の上で行う。

ウ リハーサル・交流会

(ア) 日程 10月6日(土)(本大会前日に実施)

(イ) 場所 以下のとおり

ア リハーサル 米子コンベンションセンター 多目的ホール(本大会と同会場)

イ 交流会 ANAクラウンプラザホテル米子 飛鳥の間

エ 本大会

10月7日(日)(開催期間:1日) 米子コンベンションセンター 多目的ホール

4 実行委員会の開催予定

日 程	内 容
平成30年 6月	実行委員会企画推進会議(第1回)
平成30年 8月	実行委員会企画推進会議(第2回)
平成30年11月	実行委員会企画推進会議(第3回)
平成31年 2月	実行委員会総会
平成31年 2月	実行委員会企画推進会議(第4回)

平成30年度 手話パフォーマンス甲子園実行委員会収支予算書

(1) 収入の部

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額 (補正後)	増 減	備 考
助成金	33,980,000	33,580,000	400,000	・ 日本財団助成金
負担金	13,824,000	4,324,000	9,500,000	・ 鳥取県負担金
協賛金	1,900,000	1,671,000	229,000	・ 大会への協賛金 (企業、団体、個人)
手数料	180,000	150,000	30,000	・ 応援自動販売機手数料
雑入	150,000	145,000	5,000	・ 寄付金 ・ 預金利息
前年度繰越金	1,010,421	889,355	121,066	・ 前年度 (H29 年度) からの繰越額 ※ 本来、前年度中に執行予定だった業務に係るもの。H30 年度当初に速やかに執行予定。
計	51,044,421	40,759,355	10,285,066	

(2) 支出の部

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額 (補正後)	増 減	備 考
実行委員会運営費	600,000	500,000	100,000	・ 実行委員会開催経費 (旅費、会場使用料、通訳、飲料代等) ・ 実行委員会の運営経費 等
広報宣伝費	6,000,000	5,780,000	220,000	・ チラシ、ポスター印刷費 ・ 広告費 ・ テレビ番組制作費 等
大会開催費	9,944,421	9,479,355	465,066	・ 予選審査会開催経費 ・ 参加チーム助成金 ・ 大会開催経費 (旅費、会場使用料、通訳、飲料代等) ・ 交流会開催経費 ・ 関係機関との連絡調整費 等
大会運営委託費	34,500,000	25,000,000	9,500,000	・ 大会企画運営委託業務 ・ 委託業者選定審査会開催経費 等
計	51,044,421	40,759,355	10,285,066	